

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	ダーク・エンカウンター	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.500	△RG	0.052	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：ダーク・エンカウンター

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

番

研磨剤

比較対照ボール：エンカウンター

フレアーの幅 インチ

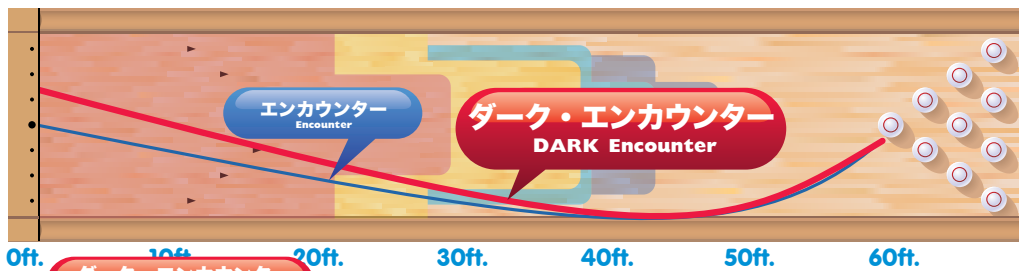
PAPからピンとの距離 インチ

表面加工

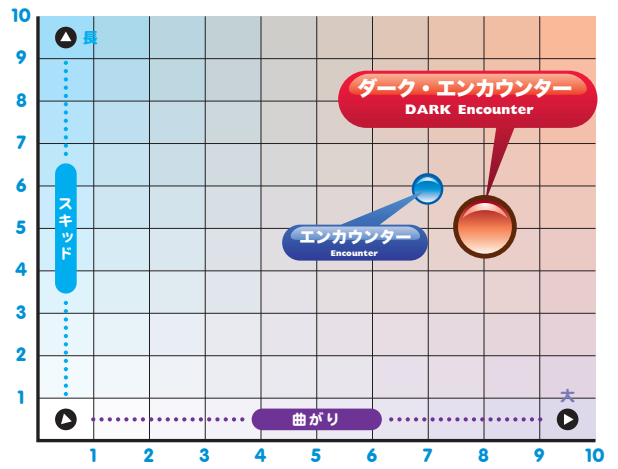
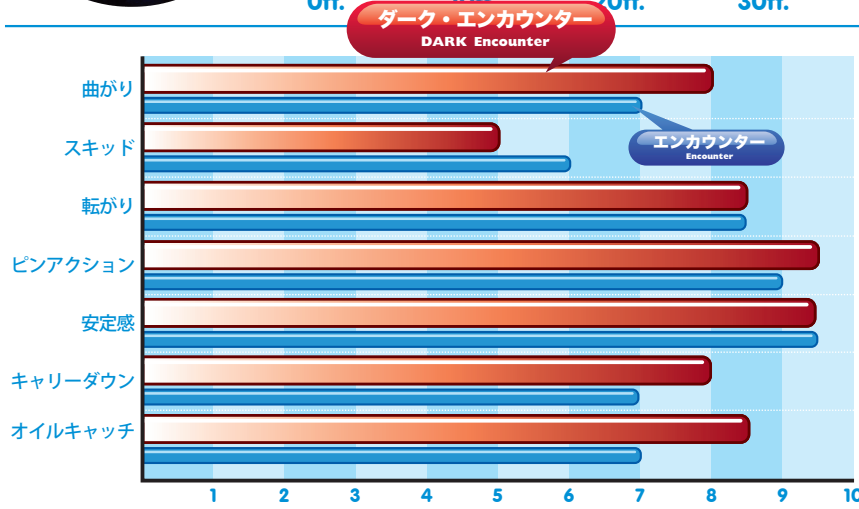
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

番

研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

今回のDARK Encounterはソリッドリアクティブを纏ったキャッチ系Hi-パフォーマンスポール。初代Encounterの扱いやすさと安定した軌道をそのままにオイルが多いコンディションで使用できるよう仕上げられました。前回のEncounterのカバーストックはElastin6.0。キャッチ系カバーストックでもパールの領域が全面にだされた性能分布でミディアムコンディションを中心にオールラウンドを色濃く表現していました。今回のDARK EncounterはElastin 7.5 SolidというSolid系リアクティブ。Encounterでややオイルに弾かれる領域をカバーできる、Encounterの曲がりのイメージを保ったままミディアムヘビーからヘビーなコンディションへの対応を可能にした、安定したキャッチ力が生み出す持続的な曲がりを感じて頂けるでしょう。

実際に投げ比べてみてもスキッドのイメージこそ違えど、総合的なリアクションイメージはEncounterの動きそのもので、私にとってはややオイルを使い、ラインの自由度を取るのであればこのDARK Encounterのほうが扱いや用途は多く、DARK Encounterを使ってからEncounterという系図も十分にレポートリーとして考えられます。またDARK Encounterの方がカバーの性質の差か、ピンアクションが低く柔らかい、高いレベルに仕上げられている部分でも使用するに値します。Encounterを使用し、そのリアクションイメージが気に入っている方、Encounterみたいな曲がりイメージでオイルに対しての強さを求めている方にはこのボールがおすすめです。またDARK Encounterはキャッチ系に属する性能ですので、ややCAは抑え気味にし、ボウラータイプに合わせフック移行の調節を行ってください。

特記事項

Encounterのイメージのままフック移行を早め、よりオイルに対しての安定感を求めました。Encounterの曲がり方でオイルに強いボールをお探しの方にはこのボールがベストです。